

# 学 園 だ よ り

No. 8

1976

3月31日発行

財 団 法 人  
中国四国酪農大 学 校



学生研修センター

## 施設整備の

### ご協力に感謝しよう

副校長 永井 仁

この時期の蒜山三座は未だ白一色で教室の窓辺には残雪がうず高く積り、寒々としているのが常ですが、今年はどうしたのか、二月の終り頃から雪らしい雪が降らず、周囲の牧草畑も幾分青さを増し、いつにない早い春が訪れようとして居ります。

これと同じように今年度は総事業費二億三〇〇〇万円に及ぶ整備が農林省畜産局、中国四国農政局の力強いご指導とご援助、地元岡山県並びに地方競馬全国協会の物心両面に亘る強力なバック・アップ、組織各県のご支援、関係金融機関のご協力により滞りなく完了し、関係の皆様へ感謝しながら春を待つて居ります。

今年の整備は今回の計画のうちで最大の眼になる年で、中でも蒜山には珍しい本格的な鉄筋コンクリート二階建の研修センター。しっとりと落ちていく内容の豊富な女子寮、校長室の真向いのポプラ並木の間から散見され、学校としての威容を整えてくれました。昨年より行っておりました飼料基盤整

備事業では、両牧場共ふん尿撒布のための定置配管が完成し、ふん尿利用体形の教材の充実と粗飼料確保の体制が確立いたしました。また卒業生の諸君がトレーラーの上で尻を飛び上がらせていた第二牧場のポプラ並木が舗装され作業能率が一段と向上することになりました。これに呼

びして第二牧場の第二牛舎も大改造をしたため、見違えるように綺麗になり、気持ちよく作業ができるようになりました。

これに加えて機械の方では、待望して久しかったヘイベラーを岡山県から貸付していただき大喜びをしております。さらに岡山県と地全協

のご援助で、四輪駆動付大型トラクター（七六馬力）、二九人乗りマイクロバスの設置が出来、それぞれ大いに威力を発揮しています。その他武田薬品工業KKのご好意で三〇トン入りの気密サイロ（ポリストア）を第一牧場にご寄付いただき粗飼料貯蔵面での教材が充実いたし

## 目 次

|                |       |   |
|----------------|-------|---|
| 施設整備のご協力に感謝しよう | 永井 仁  | 1 |
| 牧場の現況          |       |   |
| 第一牧場           | 奥 一郎  | 2 |
| 第二牧場           | 赤木三夫  | 3 |
| 酪農大を退職するにあたり   | 美土路啓典 | 5 |
| 大学日記           | 教務課   | 5 |
| お知らせ           |       | 7 |
| 卒業生名簿          |       | 8 |

ました。

卒業生の諸君、どうか学校に来て下さい。そのうえ、この不況下にも抱らず岡山県では体育館を初めとする五一年度計画に対し、早々と予算化していただき、地方競馬全国協会のご認定を待つばかりとなって居ります。このように各方面から筆舌に尽し難い程のご指導と実質的なご援助をいただき、我が酪大は希望に満ち溢れて居りますが、このことは卒業生の諸君が各地域において、大いに活躍してくれていることが各方面に認められた結果だと思えます。卒業生の諸君、このご好意に報いるため、諸君と酪大と一体となって一層頑張ろうではありませんか。

# 第一牧場だより

卒業生の皆さん、お元気ですか。

「暑さ、寒さも彼岸まで、」と三月一〇日を過ぎると、各地の桜前線情報がとびかう季節となりますが、蒜山地方は「彼岸過ぎて七雪」で、まだまだ冬將軍が居坐っている白銀の世界です。

それでも、待望の春を迎えるために、春肥の購入やら、農機具類の整備やらに、場員一同（奥、湯浅、金森、教務課より応援の新田・常守）張切っています。

## 施設整備

牧場の施設、機械も年々整備充実され、卒業生の皆さんの懐しい施設が姿を消たり、新しい施設が生たり、どんどん変わっています。

つにして搾乳牛舎のパドック内に、女子寮の裏の牛衡器を飼料庫横に、各々移設した。

五〇年度は、肥育牛舎移転のため、素牛まで出荷しました。生後一六ヶ月〜一九ヶ月令の牛七頭（平均体重五九三Kg）を平均四四二阡円で、一四〜一五ヶ月令三頭（平均体重五百Kg）を平均二七四阡円で、六〜九ヶ月令の仔牛六頭を平均一〇八阡円で、それぞれ経済連に販売しています。

二、牛ふん尿の効率的利用を促進し飼料圃の地力涵養を図るため、流下式のふん尿貯溜槽を増設、スプリンクラーで圃場に散布できるように定置配管、およびふん尿ポンプ施設を整備したこと。

三、良質サイレージの通年給与飼養方式を目指して蒜山地方で最初の気密サイロ（三〇七型）を搾乳牛舎前に設置したこと。

四、第二牧場との併用として、急傾斜地作業用のフロントローダー付MF一八五（七二PS）全輪駆動トラクターを購入したこと。

第一牧場には現在永年牧草地八、八ヘクタール、飼料畑六、〇ヘクタール、計一四、八ヘクタールの飼料圃があります。

## ホルスタイン群

五〇年度には、の育成牛、それに七頭の肥育雄牛を次の施設を整備しています。

永年草地は放牧主体利用で、余剰草は、育成牛用の乾草に廻しています。

# 況について

一、実習作業 昭和三九年産の老牛群（六〇八、の効率化と、三二、一九、五二七）がいに力つて、従来より〇九号（マダムコランサスペレド）の二頭だけとなりました。どちらの育成牛舎も一〇産しており、一一産目を目標肥育牛舎を一して頑張っています。

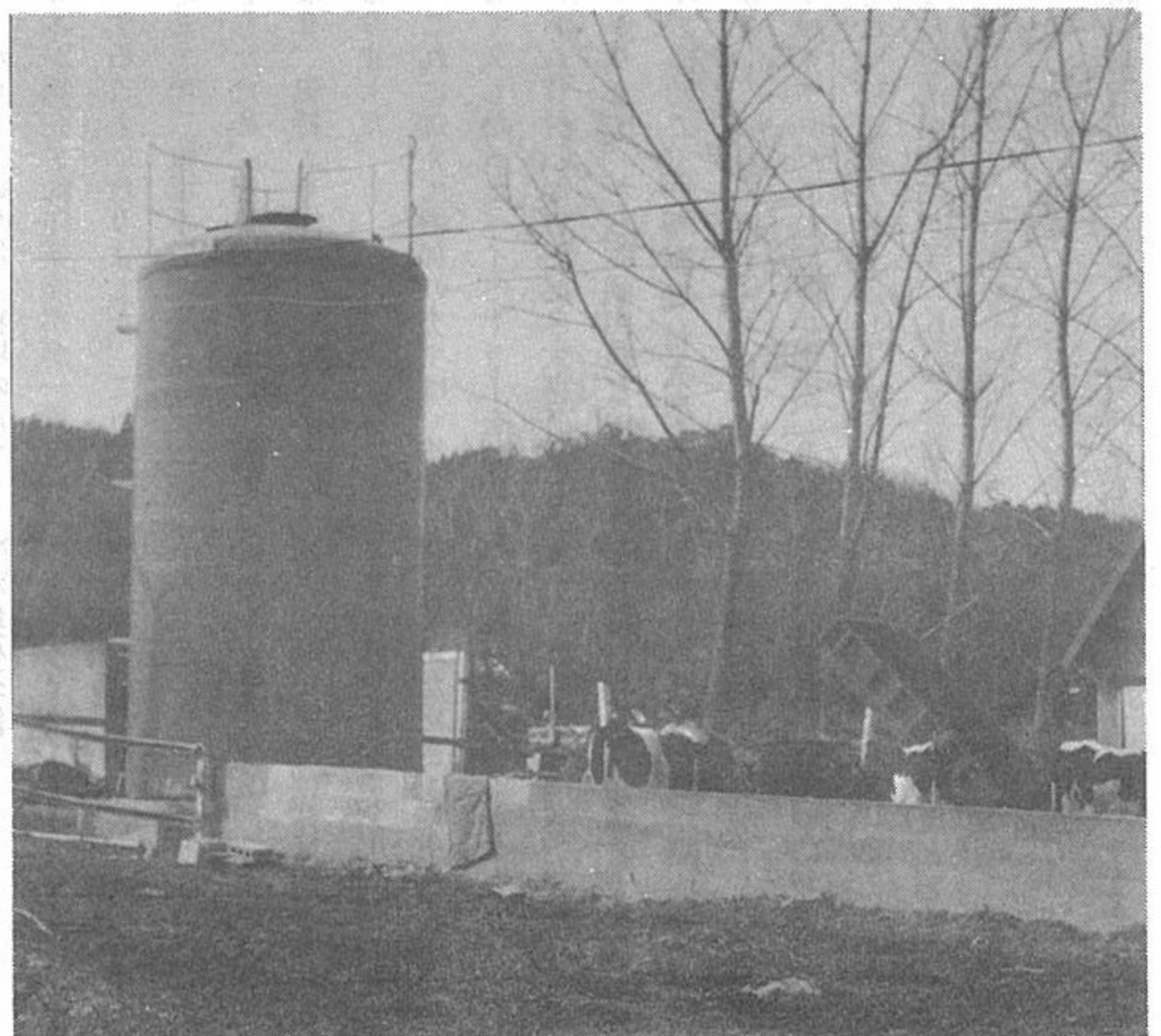
放牧は四月二〇日に開始。一月一八日終牧で、実日数一七〇日、延放牧頭数は六、八〇〇頭でした。飼料畑は、四倍体のイタリアンラグラスと、サイレージ用デントコ

## 気密サイロ設置

デントコーンは、前作のイタリアン刈取時期が遅れたため、五月下旬播種となったこと、および八月の台風五、六号の影響で倒伏がひどく、一〇a当り五〜六tで計画収量の七tを大きく下廻りました。

しかし、一期生の、目覚ましい活躍によって殆ど手刈りでしたが、バ

ンカーサイロにばいに詰込むことができました。各圃場は、土壌診断の結果、以外と酸性反応を示し、PHは、四・五〜五・五でした。このため、五〇年度は、苦土石灰を一〇a当り二〇Kg程度の施用と、完熟堆肥や、ふん尿等の有機質肥料を土壌還元し、土壌改良



# 牧場の現

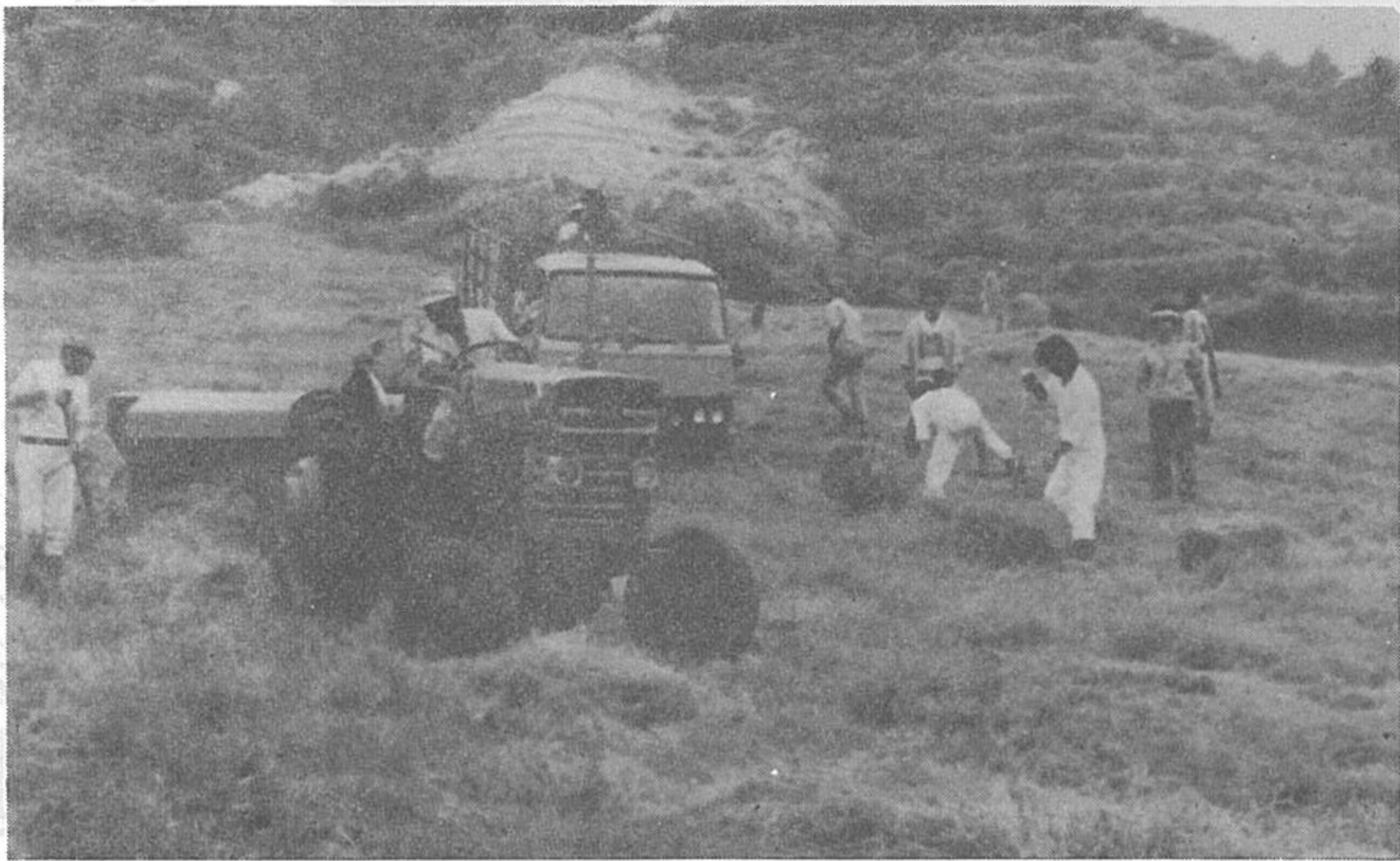


良に努めています。

皆さん方も一度、最寄の普及所にお願ひして、我家の畑の土じょうの性状を診断してもらい、効率的な肥培管理を行ってください。

末筆、卒業生の皆さんのご健闘を念じ、第一牧場の近況報告を終わります。

(第一牧場奥記)



乾草調整

## 第二牧場の現況

今年の蒜山の冬は昨年比に雪が少なく、特に三月になってからは暖かい日が続き、中旬には草地の雪も殆んどとけ牧草も芽をふきはじめ四月上旬には放牧できるのではないかと職員一同で楽しみに頑張っております。第二牧場も昭和四十九年度から牛舎改造及び飼料基盤の整備拡充を実施してきましたが、この事業も本年度で一応完了し牧場内も一変してきましたので、その概要をお知らせしたいと思います。

### (一)施設整備(表一)

牛床及び排尿溝を整備したことにより牛舎の清掃が容易になり牛も以前に比らば非常に奇麗になってきました。

特に今年からは冬期の敷料にオガクズを使用しておりますが乳房の汚染が少なく搾乳時の乳房洗浄が非常に簡単で衛生的になりました。第二牛舎は、育成牛と乾乳牛を収容する施設で四十頭用運動スタンションとしてカウマットを使用しておりますがこれも毎日の飼養管理が省力的となり個体管理も充分できるようになり改造のメリットが充分発揮できるよ

うになりました。

特に、道路の整備については旧バンカーサイロ(一牛舎)から三木原寮前への新設道路並びにポプラ並木の道路舗装は牧場内の様相を一変し、すばらしい光景となり作業の能率化は勿論のこと観光客の目を楽ませる絶好の場所となってきました。(但し観光客立入禁止ですが)

表1 第二牧場施設整備状況

| 年度 | 整備内容   |
|----|--|
| 49 | 第1牛舎の改造(牛床及びミルクパーラー床塗, 排尿溝新設), 貯尿槽(スラリーストアー), 定置配管(約1,000m)新設, 草地更新(10ha)  |
| 50 | 第2牛舎の改造(牛舎床塗排尿溝及連動スタンション新設)貯尿槽定置配管(2,000m), 水飲場(5ヶ所)新設, 牧道新設及び舗装(1,200m), 牧柵(6,000m), 草地造成(5.0ha)草地地区画整地(2.0ha)草地更新(5.0ha) |

また、ふん尿還元用定置配管を約三〇〇メートル伏設し場内の草地全体にふん尿を散布できるようにになりましたので、今後この施設を大いに利用し牧草の増産を計ろうと考えております。

(二) 乳量の増加

第二表のとおり本年度の乳量は昭和四十六年度以来最高となっておりますが、恐らく第二牧場開設以来本年度が最高の乳量ではないかと職員一同毎日搾乳するのを楽しみに頑張っております。

これは、今までの貯蔵飼料が乾草主体であったのが、昨年度からはサイレージ主体としたため牛の嗜好性がよく飼べ残しが殆んどなくなったためではないかと考えております。

(三) 産後起立不能症の減少

昨年度までは分娩牛の三十%~五〇%が産後起立不能になっておりましたが、本年度は、現在までに一頭のみで病気らしきものは殆んど発生しておりません。

この原因は何んであろうかと職員で色々考えておりますが冬期から生草期にかけて、栄養的にバランスのとれた飼料給与ができるようになったためではないかと考えております。

以上第二牧場の近況をお知らせい



たしましたが、今後も施設整備、自給飼料の増産及び乳量増加等についてはますます頑張っていくつもりでありますので機会がありましたらご来場下さい。  
最後に卒業生の皆様のご健康と層のご活躍をお祈りいたします。  
(第二牧場赤木記)



第二牧場牧道舗装

表 2

年度、月別生産乳量比較表

(単位kg)

| 年度 | 月別区分   | 4      | 5      | 6      | 7      | 8      | 9      | 10     | 11     | 12     | 1      | 2      | 3      | 計       | 月平均    |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
|    |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |         |        |
| 46 | 総乳量    | 14,720 | 18,132 | 18,446 | 20,225 | 20,639 | 18,691 | 17,409 | 15,710 | 14,434 | 12,061 | 10,014 | 11,943 | 192,424 | 16,035 |
|    | 1頭当り乳量 | 9.1    | 10.6   | 10.6   | 10.3   | 10.9   | 9.9    | 9.4    | 8.2    | 6.8    | 5.9    | 5.3    | 6.0    | -       | 8.63   |
| 47 | 総乳量    | 13,147 | 17,645 | 19,959 | 23,960 | 22,706 | 19,997 | 19,627 | 16,509 | 13,699 | 12,633 | 11,660 | 13,297 | 204,839 | 17,070 |
|    | 1頭当り乳量 | 7.3    | 9.6    | 11.1   | 11.4   | 11.1   | 9.9    | 9.3    | 7.9    | 6.3    | 6.3    | 6.8    | 7.3    | -       | 8.69   |
| 48 | 総乳量    | 16,411 | 19,014 | 19,274 | 20,009 | 22,823 | 22,142 | 21,077 | 17,139 | 14,819 | 14,075 | 12,913 | 14,746 | 214,442 | 17,870 |
|    | 1頭当り乳量 | 8.7    | 10.5   | 10.4   | 11.4   | 11.0   | 10.5   | 9.7    | 8.4    | 6.8    | 6.9    | 7.2    | 7.4    | -       | 9.08   |
| 49 | 総乳量    | 15,888 | 20,524 | 18,420 | 20,015 | 21,722 | 20,909 | 20,300 | 20,366 | 17,243 | 15,585 | 13,595 | 15,876 | 220,453 | 18,371 |
|    | 1頭当り乳量 | 8.4    | 11.4   | 10.9   | 10.7   | 10.7   | 10.4   | 10.0   | 9.6    | 8.2    | 7.8    | 8.2    | 8.2    | -       | 9.54   |
| 50 | 総乳量    | 17,014 | 22,910 | 21,464 | 21,811 | 23,204 | 22,972 | 20,938 | 20,700 | 19,998 | 18,685 | 16,944 | 18,600 | 245,240 | 20,437 |
|    | 1頭当り乳量 | 8.9    | 11.5   | 11.5   | 11.3   | 11.5   | 11.5   | 10.6   | 10.4   | 9.2    | 8.7    | 8.7    | 9.0    | -       | 10.23  |

# 退職するに当り

## 卒業生の

### 皆さんへ

「僕は先生ではない君達の親父だ」と一部の学生には折にふれその様に話してきました。がその親父も愈々三月末で退職することになりました。今染々と十数年の過ぎ去った日々を思い出す時誠に感慨無量なものがあります。在学中は君達の両親から大切な息子や娘を預っているのだから決して間違いのない様にと別に君達の両親に頼まれたわけではありませんがその様な気持で今日まで努めて来ましたが今考えてみる時何一つ親父らしい事も出来なかったことを恥じると共に済まなく思っております。在学中の君達に大きな声で呶鳴ったこともありますがその呶鳴声も今はなつかしく想い出してくれることと思います。県立当時から今日まで多くの学生が巣立って行きましたが君達はそれぞれの郷里に於て酪農の自営者として或は又郷土の指導的立場について活躍しておられることと思

います。既に君達の中には幸せな家庭

を築いておられる方も多い事と思

います。今後共々も健康には充分注

意され又絶対に交通事故は起さない

様にそして益々自分のため家族のた

め尚その上郷土の発展のために頑張

って下さい心から祈っております。

終りになりましたが卒業生の皆さん

母校である酪農大学校を訪ねる事が

ありましたら是非陋屋にもお立寄り

下さい。(美土路 啓典)

# 大学校日誌

四月五日

第十一期生の入学式挙行。栄えある入学式には、中国・四国農政局生産流通部長を始め、各構成県の理事及び多数の来賓各位の臨席のもとで祝福を受け、三十二名(女子学生四名)が、本校の厳格な宣誓書に署名し

て、学園生活の第一歩を踏み出した。

四月

牧場の放牧開始。今年は例年なく初春に豪雪にみまわれて、牧草の根腐れによる被害が各地に起き、牧草の伸びが悪く、第一牧場では、四月二十日から、第二牧場は四月二十四日より放牧開始が行れ、乳牛は冬の長かった舎内飼育よりやと開放されて若草のもゆる草地で散々吾々に群がって生草を喰い明日への乳量増産に努めていた。

六月

今年例年になく降水量が多く一番刈による良質乾草の調整が困難であったため、冬期貯蔵飼料はサイレージ利用に変え終日実習はサイロ詰め作業の連続であった。

七月二日

三木ヶ原寮の使用開始。昨年と同様に夏期に於ける学生の健康管理を勘案して半数交替に入寮させ、女子学生は第二牧場の早出当番宿舎に宿泊させた。それぞれ学生は短期間の入寮生活ではあったと思うが、我が酪大生でなければ味えない三木ヶ原の生活の想い出が脳裡に残っていることと思われる。

四月二十二日

毎年、蒜山地区体育協会の主催による春季定例バレーボール大会に本校の選抜強豪チームが参加して準決勝において惜くも大差なく黒星となり選手はもとより応援者も敗軍の悲しさを、嫌と感じ退散することになった。

五月六日

山陽テレビの企画による我が酪農大学校の教育概要を映画化するため、撮影団が訪ずれ、第十一期生の学習状況について、次々と撮影が開始され、学生も映画出演とあって、いささか誇張した態度でカメラアングルに向っていた。

五月八日

自然草地の火入。三木ヶ原の第二牧



第二牧場放牧風景



八月十四日

第一学生研修センター及び女子寮の

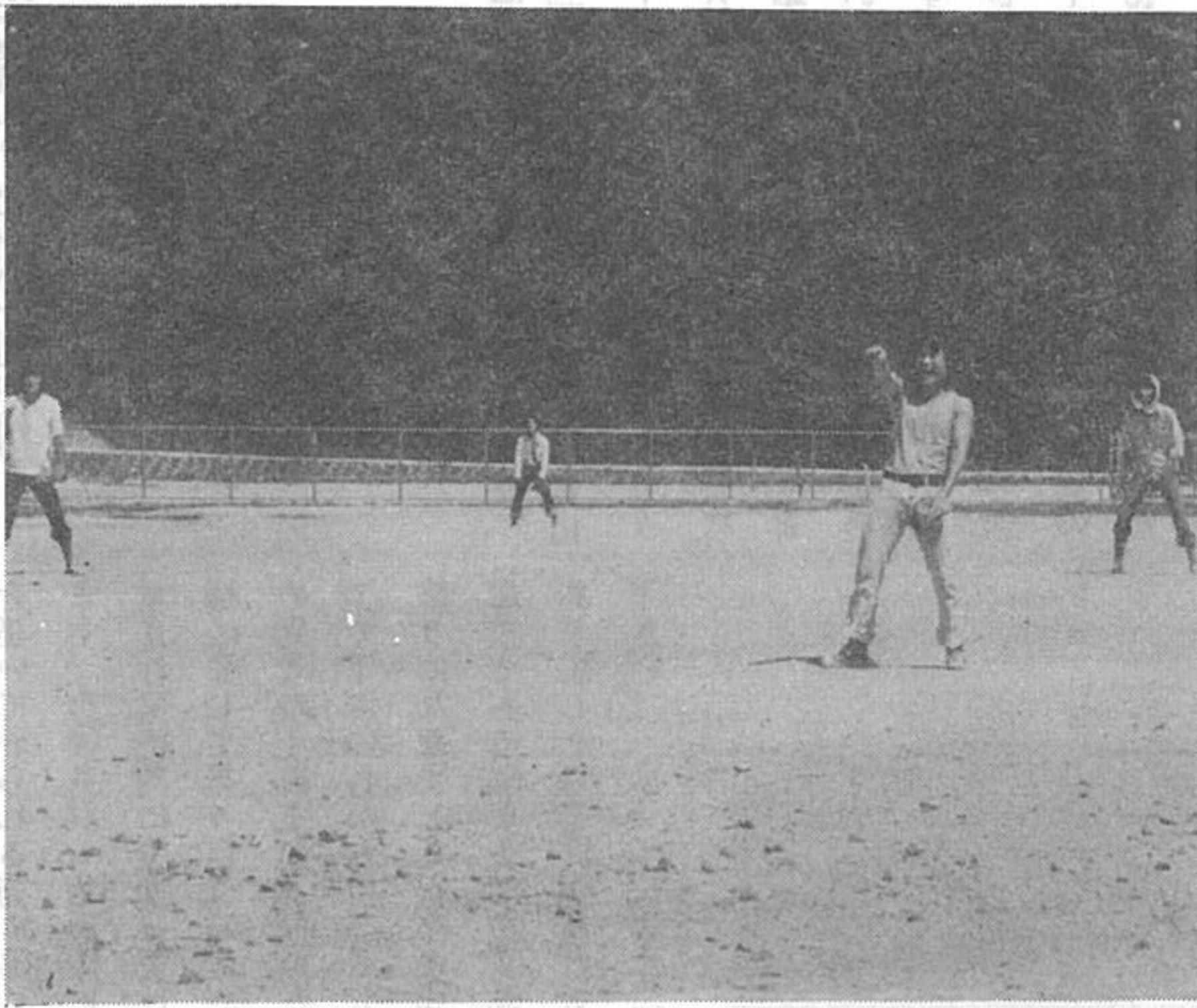
起工式挙行。昭和五十年地方競馬  
全国協会の絶大なる補助と地元岡山  
県の援助によって、学生研修センタ  
ー及び女子寮の建設事業が認可され、  
起工式を真夏の炎天下の下で多数の  
関係者の出席のもとで宮司の厳かな  
祝詞が祭壇にあげられ、校長の玉串  
奉納と緻入によって、新築の第一歩

が始まった。

八月十八日

第一牧場のトウモロコシ刈取り開始。  
今年トウモロコシの播種時期が遅  
れ生育期に雨量が多く、それに加え  
て乳熟期に入って台風の影響を受け  
て倒伏し刈取り作業は職員と学生の  
人海作戦による連日終日実習の結果  
事故なく終了した。

八月二十三日



集合研修ソフトボール大会

マイクロバス及び全輪駆動トラクタ

導入。昭和五十年、地方競馬全  
国協会の補助事業により、二十九人  
乗三菱ふそうのマイクロバスを二五  
〇万円で購入し学生の校外研修及び  
第二牧場実習の学生送迎に大活躍す  
るようになった。次に全輪駆動トラ  
クターはM・F、一八五を五〇〇万  
円で購入した。したがって学生の急  
傾斜地草地の大型トラクターの運転  
実技の習得が出来る様になった。

九月二十八日

第十一期生終業式挙行。学生は前期  
教課学習を終り、全員が酪農経営意  
欲に燃えて、校外実務研修地に向っ  
て、北は北海道、南は九州にと校内  
研修生を後にして我が学舎を去って  
行った。

十月三日

第十期生始業式挙行。十期生が校外  
実務研修をおえて、登校し各研修地  
で新知識と実技を習得して一段と精  
神的肉体的成長をとげた態度が認め  
られた。

十月二十九日十一月一日

十期生全員の修学旅行を京阪神地方  
に実施した。幸に第六回全日本ホル  
スタイン共進会が淡路島の三原で開  
催され全国各地より出品された優秀  
な乳牛を見学でき意義ある旅行であ

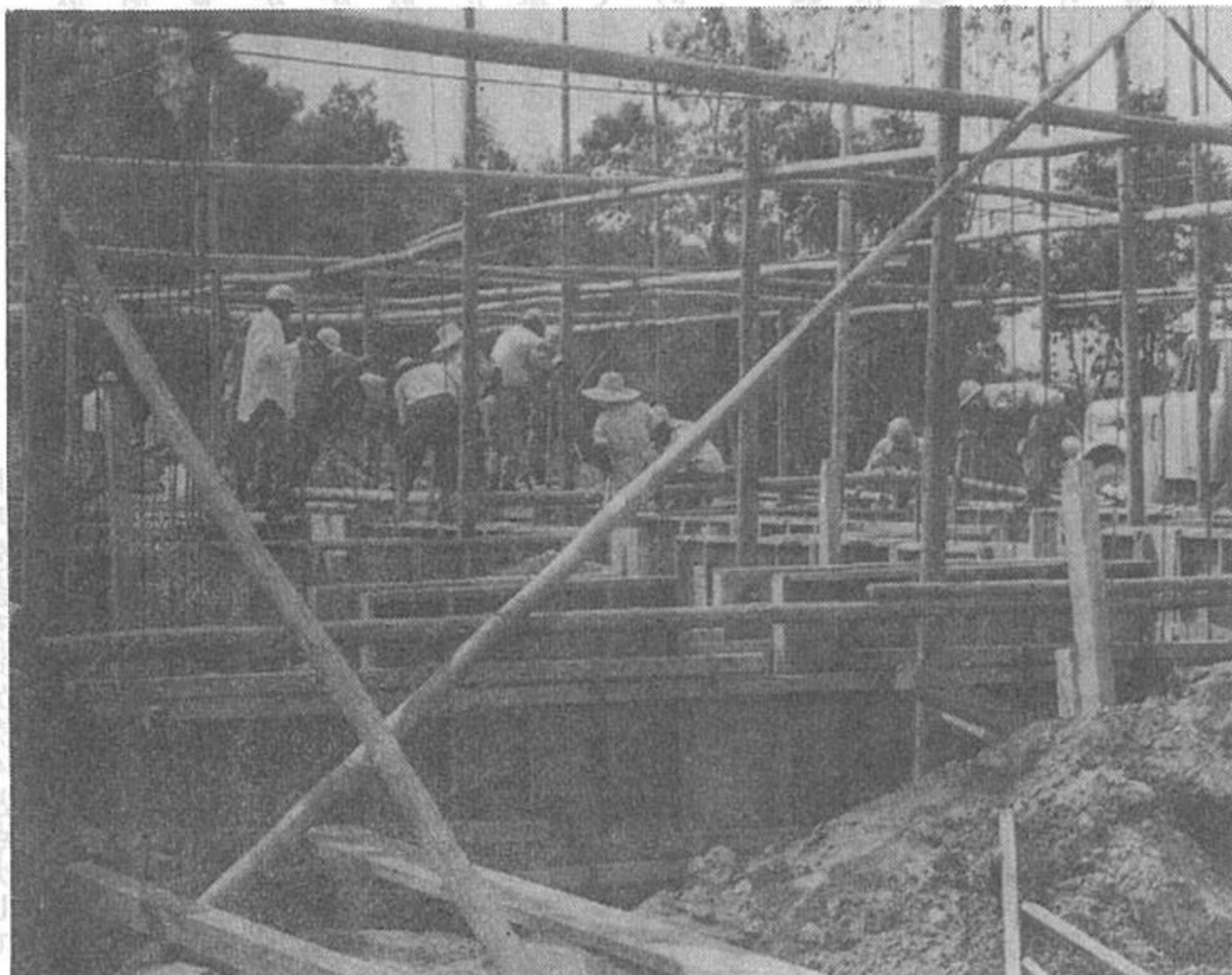
った。

十一月六日

大型トラクター運転免許試験実施。  
例年により蒜山高校のグラウンドを借  
用して実施した。  
この日は、あいにくの悪天候で受  
験者は雨具を着用して泥んこの試験  
コースを運転して、試験終了後のグ  
ランド整地に大変苦労した。

十二月二十四日

学生主催のクリスマスパーティーを本  
校講堂で開催した。学生と職員との  
ゲーム遊技大会が行われて、職員チ  
ームが若き学生を相手に頑張って上  
位進出して楽しいXマスの聖夜をすご  
した。



学生研修センター建設

十二月二十八日

女子寮の建設完成。独身寮の跡に女子寮建設が総工費二、二四〇万円で鉄筋コンクリート造り平屋建て、建築面積一六〇平方メートルの近代的

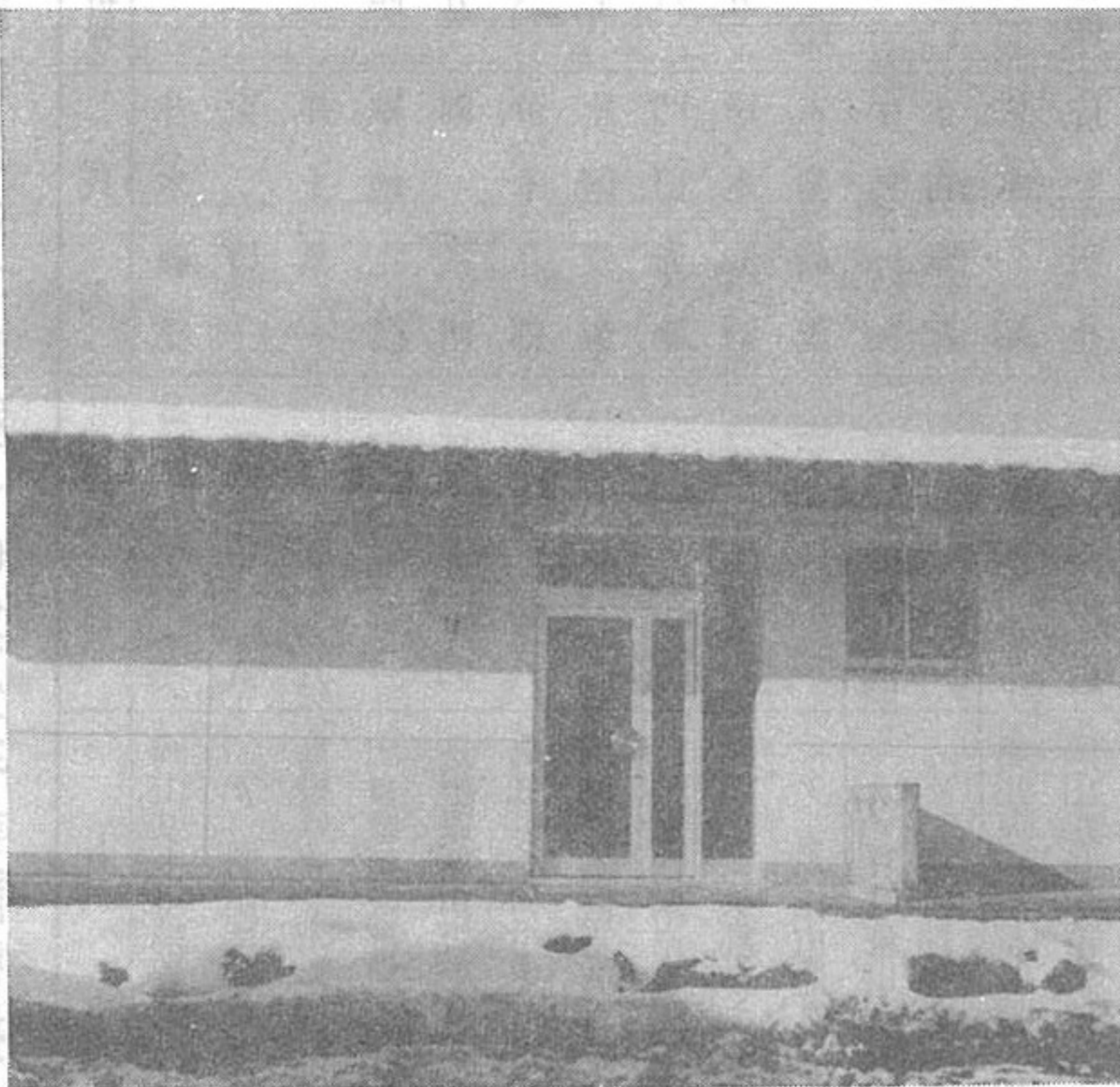
暖房完備の女子寮が完成した。従って十一月三十一日 第一学生研修センター建設完成。本校最大の事業である第一学生研修センターの建設が事業費一三、九八六万円で鉄筋コンクリート二階建て

十二月二十八日 全員が受講し十二月十二、十三日に講習修業試験が実施された。学生の努力の結果全員そろって合格し二十

一月三十一日 一段と雄大さを誇るようになった。建設完成によって我が学園の校風も

五十二年一月

昭和五十一年度の入学試験実施。本年度より推せん入学を新設して、構成各県より酪農意欲に燃える優秀な

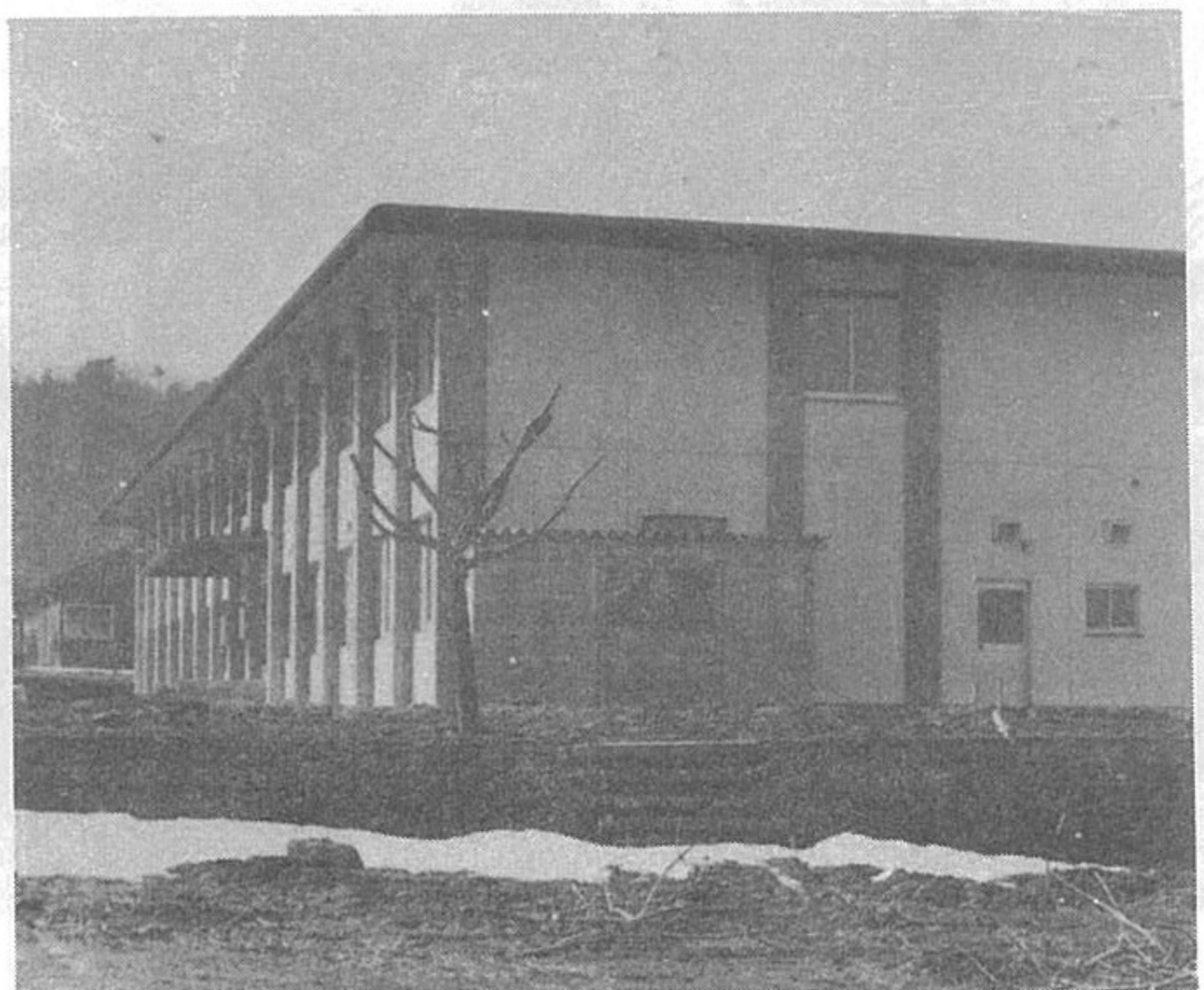


女子寮完成

昭和三十二年四月二十日に嘉得さんが昭和五十年四月二十日に島根県平田市の内田荘にて華燭の宴を挙げられた。第八期生の福島章晴君は、九期生の白川清美嬢と三月十三日に久世町農協会館にて盛大な結婚式を挙行された。今後両者の活躍と御多幸を祝します。

三月二十七日

第九期生岡田達文君と同期生の井上嘉得さんが昭和五十年四月二十日に島根県平田市の内田荘にて華燭の宴を挙げられた。第八期生の福島章晴君は、九期生の白川清美嬢と三月十三日に久世町農協会館にて盛大な結婚式を挙行された。今後両者の活躍と御多幸を祝します。



学生研修センター完成

お知らせ

自動車事故の犠牲者

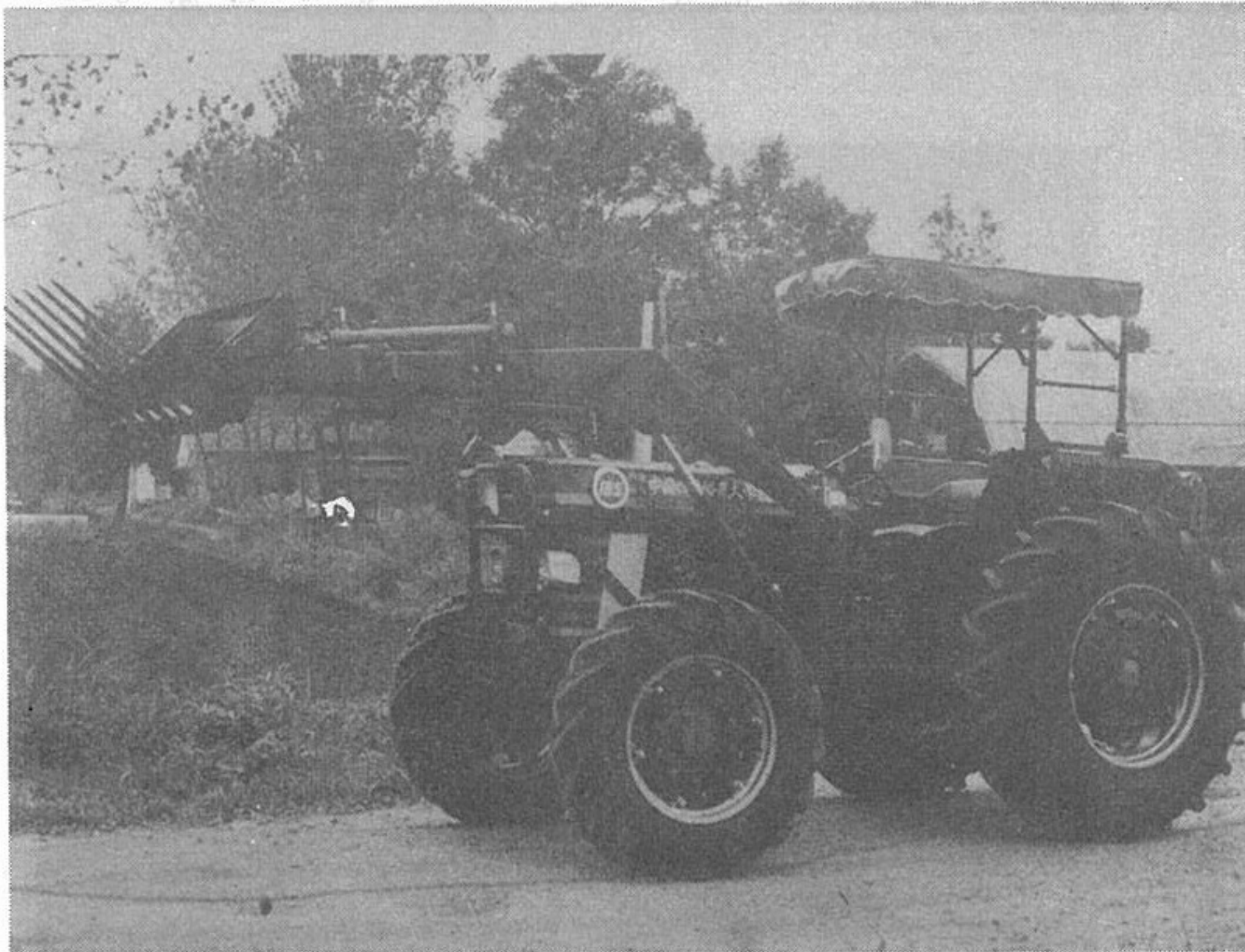
第七期生の木村守彦君は昭和五十年九月二十八日に自動車事故にあつて永遠に帰る者となった。次に第八期生の久茂谷弘君も広島にて自動車事故により他界された。両君の死に対して心より御冥福を祈ります。

昭和五〇年度第一〇期生卒業証書授与者名簿

卒業生の皆さん元気な姿で日夜酪農諸業務に精励のことと思います。今回の学園だよりの発行は紙面の関係上から学校施設整備の概況。牧場の現況及び学校の年間行事を記載しました。今後卒業生の皆さんと我が学園の発展のために連繫を深めて編集内容を充実したいと思いますので皆さんの御寄稿や意見などをお寄せください。

編集後記

卒業生の皆さん元気な姿で日夜酪農諸業務に精励のことと思います。今回の学園だよりの発行は紙面の関係上から学校施設整備の概況。牧場の現況及び学校の年間行事を記載しました。今後卒業生の皆さんと我が学園の発展のために連繫を深めて編集内容を充実したいと思いますので皆さんの御寄稿や意見などをお寄せください。



学 園 だ け よ 園 り 学